

J-26

中国河北省唐山市曹妃甸区における観光マリーナの設計 -観光ビジネスを取り入れた複合施設の提案-

Design of a cruise terminal in the Tangshan City Caoju District of Hebei Province, China - Proposal of complex facilities incorporating tourism business -

佐藤信治¹, ○千葉雄介²Sato Shingi¹, Chiba Yusuke²

The Chinese economy is rapidly developing. Along with the economic development the living standard of Chinese citizens rose and the proportion of consumption to entertainment increased. From such a background, tourists of Chinese citizens are rapidly increasing. There is much room for expansion and this trend will continue in the future. However, in China there are few facilities for sightseeing and most of the tourists travel abroad. As a result, the travel balance in China has become a large deficit. Tourist facilities to attract domestic and foreign travelers in China are needed to curb the deficit travel balance. Meanwhile, I would like to pay attention to the cruise market. Now, Asian cruise market is growing the most in the world. The number of tourists cruised in China sharply increased and is expected to increase in the future. China with diverse cultures attracts attention from overseas cruise travelers, but at present it is not able to respond to the expanding cruise market. In order to respond to the cruise market expected to grow in the future it is urgent to plan a new cruise terminal. At present, there is a plan of complex amusement facility, accessibility from the city area near Beijing City, high accessibility China Hebei Province Tangshan City Cao Zhuang District is the planned place. We will plan a composite marina with a view to future utilization including cruise terminal which is expected to attract customers from domestic and foreign countries. We aim to respond to demand for tourism and recreation in China thought to be more pronounced due to future socio-economic level improvement due to economic development.

1. はじめに

中国経済は急速な発展を遂げている。経済の発展に伴い中国国民の生活水準が上がり、娯楽に対する消費の割合が高くなった。そのような背景から中国国民の旅行者が急激に増えており、今後もこの傾向は続くと思われる。しかし、中国国内には観光のための施設が少なく海外に旅行する中国国民が大半を占める。そのため中国における旅行収支は大きく赤字となっている。赤字の旅行収支を抑えるために中国国内における国内外の旅行者を集客する観光施設が必要である。

そんな中、注目したのはクルーズ市場である。現在、アジアのクルーズ市場は世界で最も成長している。中国国民のクルーズによる海外旅行者数は急激に増え、今後も増加が見込まれる。多種多様な文化を持つ中国は海外クルーズ旅行者からの注目を集めているが、その拡大するクルーズ市場に対応できていないのが現状である。今後も成長が予想されるクルーズ市場に対応するために新たなクルーズターミナルの計画が急務である。

現在、複合アミューズメント施設の計画があり、北京市近郊、都市圏からのアクセス性も高い中国河北省唐山市曹妃甸区を計画地とする。国内外からの集客を

見込むクルーズターミナルを含む、将来的な活用を視野に入れた観光マリーナの計画を行う。

2. 計画背景

2-1. 中国の現状

中国は経済成長著しい新興国の中でも群を抜いた成長を続け、2010年に中国のGDPは日本を抜き、現在アメリカに次ぐ世界2位となり経済大国となった。経済成長に伴い国民の生活水準も上がってきている。経済発展の指標の一つであるエンゲル係数をみても、エンゲル係数は家計の食費の割合であり、国々の文化によって割合は大きく変わるが、値が低くなるほど人々は収入を食費でなく、住宅や車、電化製品、休暇、服装や宝飾品といった他のものに回していることになる。つまり値が低いほど国民の生活水準が高いと言える。中国を見てみると1980年では都市部、農村部ともに60%前後だった値が2010年代にはいと30%代まで低くなっており、今後もその傾向が続くと考えられる。この傾向から中国国民の娯楽などへの消費支出の割合が高まっていると言える。

2-2. 中国におけるマリーナ需要の高まり

中国国民の消費支出の高まりが顕著に表れているのは旅行消費である。中国人の海外旅行者数を見てみると、2005年の約3千万人から2016年の1億3千万人

1 : 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture & engineering, CST., Nihon-U.

2 : 日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture & engineering, CST., Nihon-U.

強へと大きく増加している。そして中国の総人口に対してまだ 10%以下のことから、今後も拡大の余地が大きいと思われる。そんな中、中国ではクルーズによる旅行が注目されている。2015 年の中国のクルーズ人口は 2012 年の約 4.6 倍 となっており、2020 年の中国のクルーズ人口は 400~500 万人まで拡大すると言われて いる。(Figure 1)

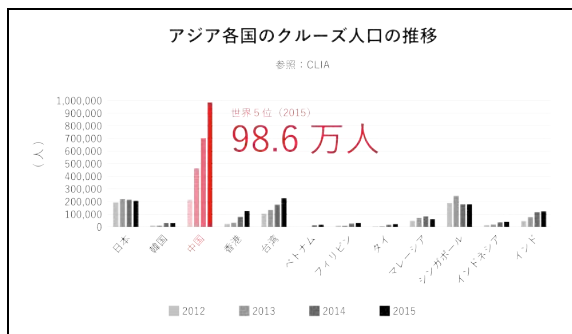


Figure 1. Changes in cruise population in Asian countries

アジアのクルーズ市場全体が世界のほかの海よりも市場成長していることもあり、多様な文化を持つ中国のクルーズターミナル需要が国内外ともに高まっている。

2-3. 中国のマリーナの現状

中国国内のクルーズ需要が高まる中、中国はその急激に成長するクルーズ産業に対応できていないのが現状である。主要の 10 施設をみると多くの発着数に比べ寄港が圧倒的に少ない。(Table 1) 現在の中国では海外からの旅行者に対応できないのがわかる。また、国内のクルーズ利用者に対しても対応が遅れている。中国国内でもっとも大きい上海のウースンクルーズターミナルでも人々が溢れ、仮設のチェックインカウンターが必要になっている。今後も成長が予想されるクルーズ市場に対応するために新たなクルーズターミナルの計画が急務である。

Table 1. Cruise Terminal in China

	合計数	発着	寄港	取扱乗客数
天津	93	86	7	431,000
上海	344	320	24	1,645,189
廈門	66	47	19	175,737
三亜	30	—	30	103,355
大連	20	10	10	22,915
煙台	18	18	—	11,286
青島	19	19	—	32,077
舟山	12	12	—	20,000
広州	1	1	—	2,600
海口	26	26	—	36,295

2-4. 中国の環境問題

多様な文化やその中で長年育まれてきた中国独自の環境は価値であり観光業においては強みである。しかし、現在の中国は急激な経済発展の一方で数々の環境問題に陥っている。今まで中国を資源開発によって支えてきた依存型都市では資源が枯渇した場合、経済活力が失われるだけでなく、環境対策を行うことができなくなる。こうした資源依存型都市は多数出現しており、今後も増加が見込まれる。観光業を行うのならば中国の環境問題に取り組むことが大切である。

3. 計画敷地

計画敷地は現在、マリーナ及び、アミューズメント施設の計画が初期段階である中国河北省唐山市曹妃甸区の海に面した敷地で計画する。(Figure 2)

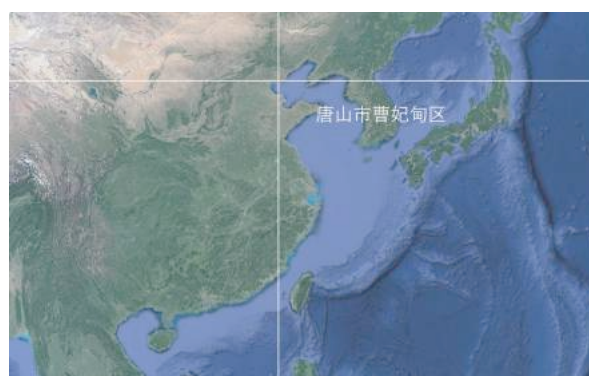


Figure 2. China Tangshan City Cao Branch

4. 基本計画

計画方針の 1 つ目として、急激に成長するクルーズ需要に対応するクルーズターミナルを含めたマリーナの計画を行う。

2 つ目として、環境を売る企業を誘致し資源依存型都市からの脱却を目指す。環境ビジネスに取り組む企業を誘致することで、環境の重要性を来訪した消費者に理解してもらうことで計画敷地のブランド力を上げ、認知させる。また、企業と観光業と連携することで中国の広範囲な人々に対して環境の大切さを理解する大きな流れを生み出していくことを目指す。

[参考文献]

- [1] 「中国経済指標」SER 社会経済リサーチ
- [2] 「August 2016」Cruise Lines International Association
- [3] 「Cruise Ship Environmental Innovation」Cruise Lines International Association
- [4] 「CLIA: 2016」Cruise Lines International Association
- [5] 「アジアのクルーズ人口は増加を続け」沖縄県
- [6] 「中国の環境問題と環境ビジネス」慶應義塾大学東アジア研究所元所員 青山 周